

# 五色台集団宿泊学習

## 野外体験学習計画作成の手引

- 平成24年度版 -



**編集 香川県立五色台少年自然センター自然科学館**

〒762-0014 香川県坂出市王越町木沢1901-2

TEL 0877-42-0034

FAX 0877-42-0035

URL <http://www.pref.kagawa.jp/sizeka/>

# 目 次

	ページ
目 次	1
1 五色台における野外体験学習のねらい	2
2 野外体験学習計画の作成	2
3 自然科学館としての協力・援助	2
4 計画作成についての留意事項	2
5 自然科学館の施設	5
6 野外体験学習のフィールドコース紹介	5
(1) 五色台上の主なバス路線，五色台上及び周辺の施設・札所と連絡先	6
(2) 各コースの特徴と学習主題	
大崎コース	7
木沢コース	9
小原海岸コース	11
明神丸～水落～王越コース	13
ビジターセンター周辺コース（旧タンベ池及びその周辺コース）	15
野鳥の森コース	17
香西口～市瀬神社～根香寺コース	19
遍路道～白峯寺コース	21
遍路道～国分寺コース	23
赤子谷コース	25
自然センター～根香寺コース	27
香西口～根香寺～白峯寺コース	29
自然科学館及びその周辺コース	31
フィールドマナー 10 か条	33
注意しよう！野外の動植物	34
野外体験学習の服装を整えよう	35

## 1 五色台集団宿泊学習における野外体験学習のねらい

### (1) 集団宿泊学習のねらい

自然に親しみ、体験教育を通して、創造性豊かで柔軟な思考と自己錬磨のきっかけをつかむと共に、集団生活の中で人間関係を深める。

### (2) 野外体験学習のねらい

ア 五色台の自然・人文事象に触れる活動を通して、自然や文化遺産に親しみ、それらを大切にしようとする心情を育てるとともに自然への畏敬の念を深める。

イ 五色台の自然・人文事象を対象とした生徒主体の問題解決学習を通して、科学する心を養い、科学の方法を習得させる。

ウ 五色台の自然・人文事象の学習を通して、先人の生活の知恵や工夫などにも注目しながら、自然と人間との関わりについて考え、自己表現する力を育てる。

エ 五色台の自然・人文事象の学習の中で、環境に関わる事象に直面させることで、身近に存在する環境問題への興味・関心およびその問題解決への意識を高める。

## 2 野外体験学習計画の作成

各学校は、生徒や地域の実態、野外体験学習のねらいに即して、野外体験学習の日程・フィールドコース・学習内容・学習方式などを決め、計画を作成する。

## 3 自然科学館としての協力・援助

各学校が野外体験学習を計画・実施するにあたり、以下の通り自然科学館として最大限の協力・援助を行う。

(1) 自然科学館は、各学校の野外体験学習に積極的に協力する。その場合、生徒が自然・人文事象に主体的かつ直接的に接することを援助する立場で臨む。

(2) 各学校の計画作成にあたって、事前協議等の機会を通じて、積極的に援助し協力する。

(3) 五色台のフィールドに関する学習資料や野外観察用具を整備するとともに、各学校に提供する。

## 4 計画作成についての留意事項

### (1) 学習内容・活動選択の基本的な考え方

ア 各学校は、校区や生徒の実態を考慮し、それに適する学習内容や活動を主体的に選択する。

イ 学習のねらいや実施時期により、それぞれ特徴ある13のフィールドコースから、半日または1日を単位とし、同時に3コース、4グループ以内で選択する。ただし、1日の学習を希望する学校で、学習日の学級数が4学級を越える学校については、最大3コース、5グループでの対応も可能である。また、学校側に学習指導を行うことのできる教職員がいる場合、コースやグループ数を増やすことができる。学習に必要な道具は自然科学館より貸し出すことができる。

ウ 生徒の主体性を尊重し、質的にも量的にもゆとりのある活動ができるように配慮する。

エ グループ編成にあたっては、1グループあたりの人数が20名から30名程度となるように配慮する。

## (2) 活動方式

活動方式は総合体験活動方式とし、特定の領域または主題にとらわれず、フィールドコース上の特徴あるいくつかの自然・人文領域の主題について学習活動を行う。生徒は学習内容によっていずれかのコースを選択し、グループを編成する。希望者数が多いコースは、1班、2班（A班、B班）など複数のグループにする。

## (3) 野外体験学習日程の作成例（生徒数200名、1日体験）

日 程	第 1 日	第 2 日				第 3 日				第 4 日
グループ (人数)		A (25)	B (25)	C 1 (25)	C 2 (25)	D (25)	E (25)	F 1 (25)	F 2 (25)	
フ ィ ー ル ド コ ー ス		遍 路 道 ～ 国 分 寺	赤 子 谷 ・ 根 香 寺	白 峯 寺 ～ 遍 路 道	白 峯 寺 ～ 遍 路 道	遍 路 道 ～ 国 分 寺	赤 子 谷 ・ 根 香 寺	白 峯 寺 ～ 遍 路 道	白 峯 寺 ～ 遍 路 道	

## (4) フィールドコースの選択

各学校は、具体的目標とそれに適する体験内容を考慮し、下記からコースを自由に選択することができる。なお、逆方向に歩いて学習したり、その一部を利用したりすることが可能なコースもある。

番 号	コ ー ス 名	学 習 時 間	徒 歩 距 離 (km)	利 用 で き る 季 節	自 然 セ ン タ ー か ら の 交 通 手 段
	大崎コース		1.8	全	半 1 日 日 コ コ ー ス ス ス  往 片 往 復 道 復 と の と も み も 要 要 徒 バ バ 歩 ス ス 可
	木沢コース		1.5	全	
	小原海岸コース		1.0	春,夏,秋	
	明神丸園地～水落～王越コース		2.8	全	
	ビジターセンター周辺コース	( )	2.0(4.0)	全	
	野鳥の森コース		2.6	全	
	香西口～市瀬神社～根香寺コース		4.5	全	
	遍路道～白峯寺コース	( )	4.2(3.5)	全	
	遍路道～国分寺コース		5.8	全	
	赤子谷コース	( )	1.2	全	
	自然センター～根香寺コース		2.2	全	
	香西口～根香寺～白峯寺コース		11.0	全	
	自然科学館及びその周辺コース		1.5	全	

のコースについては、今年度は使用できません。

## (5) 野外体験学習の日程

野外体験学習当日の日程は、各学校の目標、学習内容、選んだフィールドの位置、季節などによって異なるが、おおむね下図のようになる。

時刻	9	10	11	12	13	14	15	16
活動	1日体験	自然センター発	野外体験学習	昼食	野外体験学習			自然センター着
動	半日体験(午前)	自然センター発	野外体験学習	自然センター着	昼食	(自然センターでの活動)		
	半日体験(午後)		(自然センターでの活動)	昼食	自然センター発	野外体験学習		自然センター着

## (6) 雨天などの場合

野外での体験学習を希望していたが、当日雨天など悪天候のため実施できない場合、雨天時の計画に変更し、自然科学館内において実習を主体にした体験学習をすることができる。その場合、当日の朝8時30分までに、変更することを自然科学館へ電話で連絡する。

また、晴天・雨天にかかわらず、瀬戸内海歴史民俗資料館の利用（休館日：月曜日、月曜日が祝日の時は次の日）も可能である。資料館内の説明は、資料館の専門職員に依頼することができる。なお、入館料は無料である。

## (7) 服装と持ち物（詳しくは35ページ参照）

### 服装

服装は、自然の中で活動しやすいもの（長そで・長ズボン）が望ましい。また、季節・天候などによって考慮する必要がある。

### 持ち物

- ・五色台のしおりと地図（購入校のみ） ・フィールドで使える筆記用具
- ・雨具（傘は不適） ・帽子（初夏～秋は白系のもの） ・作業用手袋 ・水筒 ・弁当
- ・ビニール袋 ・古新聞紙

流水で手を洗えないトイレもあるので、ウェットティッシュなどを引率者で準備しておくことが望ましい。また、夏季においては、蚊なども多いので、虫除けスプレー等も準備しておくことが望ましい。

### 危険防止

- ・持ち物は、ナップサックなどに入れて必ず背負うようにする。
- ・枝などから頭を保護するために、季節を問わず帽子を着用することが望ましい。

## (8) 事前協議

### 事前打ち合わせ会

野外体験学習の計画・実施について、実施日の1カ月半程度前に自然科学館と事前協議を行う。来館の際には、あらかじめ自然科学館に連絡をお願いしたい。

なお、不明な点や質問などについては電話かFAXで随時相談を受けている。また、計画書（学校作成のしおり）には、コース名、グループ名、グループごとの人数、引率者名を明記し、実施日の2週間前までに2部提出するものとする（少年自然センターにまとめて7部提出も可）。

### 当日打ち合わせ会

集団宿泊学習の第1日目、自然科学館の職員が自然センターへ出向いて、学校の代表者と最終的な打ち合わせをする。

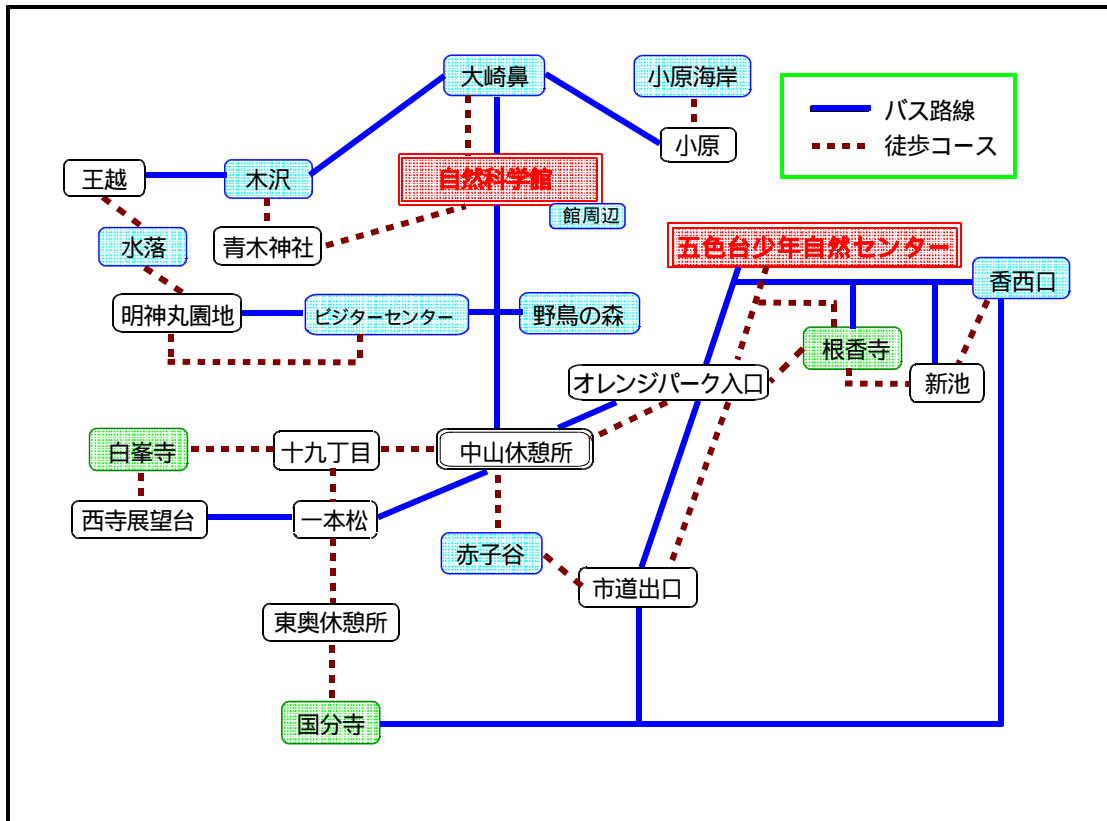
## 5 自然科学館の施設

- (1) **本館・新館・別館** ... 生物，地学，人文に関する資料を教材として，クラブ活動方式による体験学習を行う。
- (2) **五色台つどいの家** ... 人文に関する体験学習を行う。
- (3) **よい子の科学広場** ... 芝生広場及び周辺の散策路において，生物の観察をしたり，自然を利用した遊びを楽しんだりすることができる。よい子の科学広場内には，日時計や五色台子ども館などの施設がある。また，その周辺には樹木探検コース等もあり，四季折々の樹木を観察することができる。

## 6 野外体験学習のフィールドコース紹介

- (1) 野外体験学習の際のバス路線図等を6ページに掲載する。なお，フィールドコース（全13コース）については，当館のホームページや五色台のしおり付けの地図を参照してほしい。
- (2) 各コースについて，コース番号順に，そのコースの特徴と主な学習主題を7～32ページに示す。なお，当館ではホームページでフィールドコースを紹介しているほか，貸し出し用資料も準備しているので，生徒の希望調査等で活用してほしい。

## 五色台上の主なバス路線



## 五色台山上及び周辺の施設・札所と連絡先

五色台少年自然センター	(087) 881 - 4428
自然科学館	(0877) 42 - 0034
五色台つどいの家	(0877) 42 - 0339
瀬戸内海歴史民俗資料館	(087) 881 - 4707
休暇村讃岐五色台	(0877) 47 - 0231
五色台ビジターセンター	(0877) 42 - 2479
青峰山千手院根香寺	(087) 881 - 3329
綾松山洞林院白峯寺	(0877) 47 - 0305
白牛山千手院国分寺	(087) 874 - 0033
高松市讃岐国分寺跡資料館	(087) 874 - 8840

# 大崎コース

## 1 特 徴

### (1) 大崎鼻周辺

大崎鼻から対岸の玉野市日比<sup>ひび</sup>まで約7km，四国と本州の最短距離の場所である。この間に小槌島，大槌島があり，本州から四国への渡り鳥の格好のルートの一つになっている。10～11月にかけてヒヨドリやツグミなどの渡り鳥を見ることができる。

また，大崎展望台跡からは，瀬戸大橋の雄大な姿が望めるとともに，かつて塩飽水軍<sup>しわくすいぐん</sup>の本拠地であった塩飽諸島も展望でき，郷土の歴史にふれることができる。

さらに，この展望台跡では，讃岐岩質安山岩の柱状節理を見ることができる。

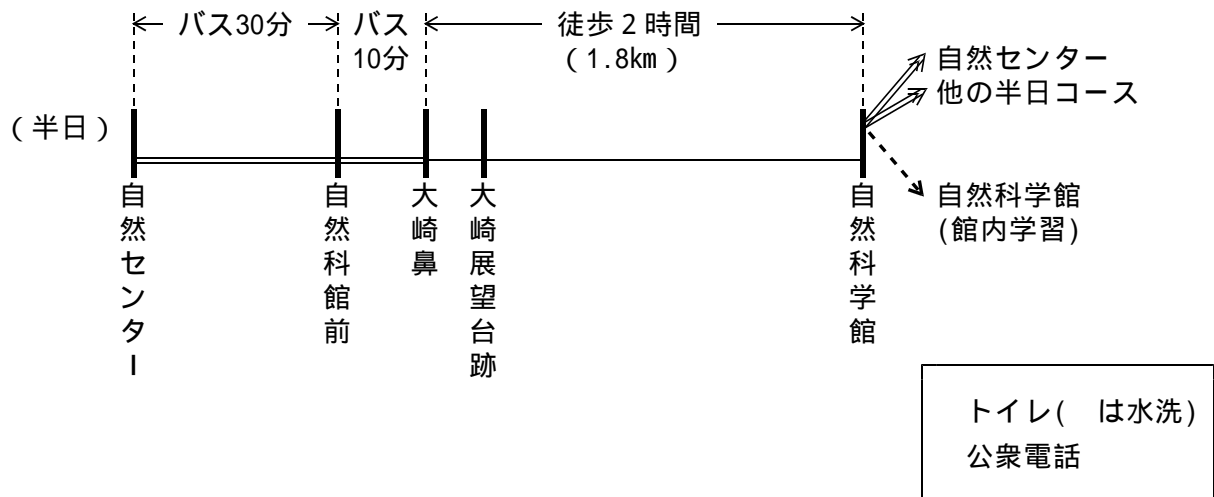
### (2) 大崎鼻～自然科学館

香川県を支える花こう岩の上に，約1000万年前の火山活動の産物（凝灰角れき岩，火山角れき岩，讃岐岩質安山岩）が堆積しており，それらの重なりを観察から，五色台の成り立ちが推察できる。

また，この道沿いにはブタナなどの帰化植物が見られ，秋の七草の一つであるクズのマント群落も見られる。

大崎山園地の遊歩道では，四季を通じて植物の観察ができ，瀬戸内海の眺望もすばらしい。

## 2 経路・所要時間



## 3 利用上の留意点

- (1) 地質ミニ標本製作を希望する場合は，ハンマーを使って岩石を割るので，軍手を必要とする。
- (2) 自動車の往来が激しいので，交通安全に留意する。
- (3) 1日の野外体験学習であれば，半日を大崎コースの学習にあて，残りの半日は自然科学館を利用して，学習を深めることができる。

#### 4 おもな学習主題

	項 目	内 容	春夏秋冬
生 物	マツの観察と遊び	アカマツとクロマツの違いを調べる	
	帰化植物ブタナ	タンポポとの違いを調べる	
	山の危険な植物	ハゼノキ, ヤマウルシの特徴を調べる	
	衣服につく植物	種類を調べ, くつつくわけを観察する	
	クズ	クズの花やつるの巻き方を観察する	
	つる植物の観察	つるののばし方について調べる	
	山の味覚	木の実を探し, 味わう	
物	いろいろな花の観察	花のつくりを調べる	
	いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ, 葉の遊びを工夫する	
地 学	大崎の地質調べ	地質のミニ標本をつくり, 地層の重なりを調べる	
	五色台の岩石調べ	検索表を用いて岩石の名前を調べる	
	火山の証拠さがし	溶岩や火山灰を見つけ出す	
	ルートマップの作り方	ルートにそって岩石を記録し, 地図に示す	
	花こう岩の観察	岩石のつくりや鉱物を観察する	
	風の観察	まわりのものようすから, 風力や風向を調べる	
	凝灰角れき岩	凝灰角れき岩の特徴をつかむ	
	火山角れき岩	れきの形などから地層のでき方を考える	
	讃岐岩質安山岩	産状や割れ口の色などを調べる	
	節理の観察	割れ口の規則性を見つけ, でき方を考える	
人 文	大槌島争奪戦	境界紛争の概要を知る	
	小槌島の竜王伝説	竜王伝説について知る	
	瀬戸大橋	郷土の発展に果たしている役割を考える	
	五色台の歴史	五色台のいわれや歴史について調べる	
	備讃瀬戸の展望	塩飽の島々と水軍について考える	
	瀬戸内海を通る船	船を観察し, その種類や行き先などを調べる	
環 境	悪魚退治の伝説	伝説の概要や背景を知り, 関連する地名を地図で調べる	
	五色台のごみ	ごみの現状を知り, ごみの処理や再利用について考える	

観察に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。

# 木沢コース

## 1 特 徴

### (1) 青木神社

王越町内にある喜佐波神社の境外末社である。本殿と拝殿があり、素戔嗚尊すさのおのみこと、五十猛命いそたけるのみことを祭神としている。この社叢しゃそうには、クスノキ、クロガネモチ、ヤブニッケイなどの常緑広葉樹、ムクノキ、エノキ、ケヤキなどの落葉広葉樹、カヤなどの針葉樹が混生しており、香川県の自然記念物に指定されている。また、染料として利用されたヤマアイの群落もある。

### (2) 市 道

青木神社から観音堂までの市道沿いでは、オドリコソウや春の七草のハコベ、ナズナなど身近な草花を観察することができる。

### (3) 観 音 堂

堂内に安置してある江戸時代作の大日如来、十一面観音、弘法大師の石像を観察することができる。また、このあたりから木沢地区の展望ができ、木沢塩田跡、みかん畑などを見ることができる。さらに、渋川、日比など岡山県側を遠望することもできる。

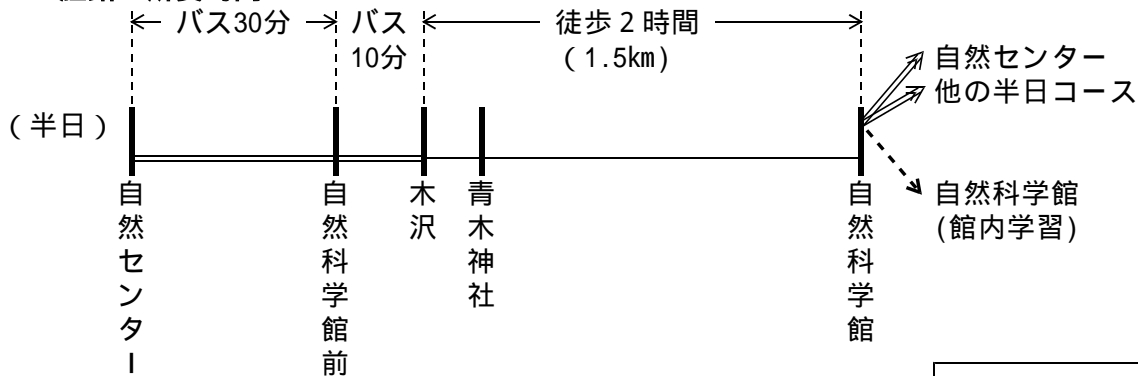
### (4) 峠 道

観音堂からの峠道では、西国三十三観音の石仏が観察できるほか、峠の地蔵、開墾記念碑などを見ることができる。また、讃岐岩質安山岩の急崖、四季の植物も観察することができる。

### (5) 木沢塩田跡

木沢湾の奥に、広さ20haほどの木沢塩田跡が見える。この跡地の眺望をもとに、塩田の立地条件や製塩業の歴史の一端を知ることができる。

## 2 経路・所要時間



トイレ(は水洗)  
公衆電話

### 3 利用上の留意点

1日の野外体験学習であれば、半日を木沢コースの学習にあて、残りの半日は自然科学館を利用して、学習を深めることができる。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬
生 物	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる
	春の七草	植物を観察し、身近な植物に親しむ
	山の味覚	木の実を探し、味わう
	落ち葉ひろい	落ち葉を拾い、葉の違いを調べる
	野菊	花の種類を調べ、野菊に親しむ
	いろいろな花の観察	花のつくりを調べる
	いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する
	ハコベ	ハコベの体のつくりを調べる
	社叢	樹種や階層構造を調べる
	アリジゴク	体のつくり、捕食行動を観察する
-----		
地 学	讃岐岩質安山岩	風化のようすや割れ口を観察する
	メサとビュート	メサとビュートの成因を知る
-----		
人 文	青木神社	青木神社の由来について調べる
	集落を調べる	地図を利用して集落の変化を調べる
	西国三十三観音と観音堂	仏像の姿を観察する
	峠の地藏	地藏信仰について考える
	塩田と製塩業の現状	製塩業の歴史について知る
	みかん栽培と傾斜地利用	みかん栽培の条件を探る
	瀬戸大橋	郷土の発展に果たしている役割を考える
	大崎山の開拓	石碑から開拓のようすを調べる
	五色台の歴史	五色台のいわれや歴史について調べる
	五色台の名前の由来	五色台の名前の由来について調べる
-----		
環 境	五色台のごみ	ごみの現状を知り、ごみの処理や再利用について考える

観察に適した季節を示す。印はこのコースで中心となる学習主題である。

# 小原海岸コース

## 1 特 徴

### (1) 県道～小原海岸

県道わきから，海岸へ細道が通じる。県道や海岸からは，直島や大槌島などの島々が眺望でき，瀬戸内海の海上交通のようすを知ることができる。また，トビ，ヒヨドリ，メジロなどの野鳥も観察でき，春早くからウグイスのさえずりやキジの鳴き声を聞くこともできる。

### (2) 小原海岸

小原海岸は，砂浜，転石浜，磯浜を備えた県内でも数少ない自然に近い海岸で，岩石や地形の観察，海岸生物の観察に適している。

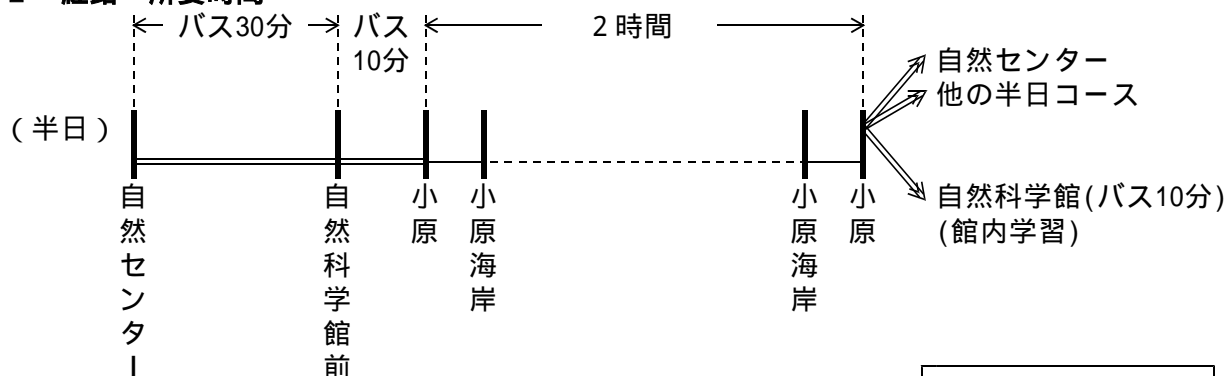
砂 浜 ... 砂の中からガーネットなどの鉱物を採集したり，ハマエンドウやツルナ，ハマダイコンなどの海浜植物を観察したりすることもできる。

転 石 浜 ... れきの種類や形状を調べたり，転石の下にいる貝，カニ，ヤドカリなどの動物を観察したりすることができる。また，打ち上げられたアオサ，ユカリ，マクサなどの海藻を採集し，しおりや標本を作ることできる。

磯 浜 ... 波によって侵食された凝灰角れき岩の海食台で，動物の種類が多い。岩の表面では，タマキビ，ヒザラガイ，マツバガイなどが見られ，タイドプール(潮だまり)では，イソギンチャク，ヤドカリ，ハゼなどのなかまが観察できる。

海食地形 ... この海岸は，地形や岩石の観察にも適している。磯浜付近では，海食崖<sup>かいしょくがい</sup>，海食台など，波の作用によってできた地形が観察しやすい。凝灰角れき岩や花こう岩など露出している岩石の観察もしやすい。また，花こう岩の上に凝灰角れき岩が重なった不整合も見られるので，その境をたどり，過去のできごとを想像することで，大地についての関心を深めることができる。

## 2 経路・所要時間



トイレ( は水洗)  
公衆電話

### 3 利用上の留意点

- (1) 干潮の時刻によって、午前が適する場合と、午後が適する場合がある。ただし、潮の引き具合によっては、学習不可能な日もあるので、潮時表等で確認が必要である。
- (2) 海辺での学習なので、少年自然センターで長靴を借りることが必要である。
- (3) 1日の野外体験学習であれば、午前に小原海岸で学習し、午後から自然科学館で海藻の標本づくりなどを行うことにより、学習を深めることができる。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬
生物	海浜植物	海浜植物のからだのつくりの特徴を知る
	海岸動物の種類	生息場所や形態などの特徴を観察する
	ヤドカリの観察	ヤドカリの形態や行動を観察する
	カニの観察	カニの種類や形態を調べる
	海藻の観察	採集した海藻を観察し、分類する
地学	不整合の観察	異なる岩石の境を見つけ、でき方を考える
	海食地形	海水の侵食によりつくられた地形を見つける
	ガーネット	ルーペを用いて探し、色や形を調べる
	花こう岩	岩石のつくりや鉱物を観察する
	凝灰角れき岩	凝灰角れき岩の特徴をつかむ
	れきの形、種類	海岸のれきの形、種類を調べる
	れきの並び方	海岸のれきの並び方の規則性を調べる
	風の観察	周囲の物のようすから風力等を調べる
	潮の満ち引き	潮の満ち引きのようすを調べる
	断層の観察	地層がずれているようすを見つけ、そのでき方を考える
人文	大槌島争奪戦	境界紛争の概要を知る
	製塩土器の破片	古代の塩づくりの方法を考える
	瀬戸大橋	郷土の発展に果たしている役割を考える
環境	五色台のごみ	ごみの現状を知り、ごみの処理や再利用について考える

観察に適した季節を示す。印はこのコースで中心となる学習主題である。

# 明神丸園地～水落～王越コース

## 1 特 徴

### (1) 明神丸園地（休暇村讃岐五色台周辺）

明神丸園地に立つと、雄大な瀬戸大橋を一望できる。現代の科学の粋を結集した大橋の規模の大きさを感じとったり、橋がもたらす影響について考察したりすることができる。また、塩飽諸島を一望でき、塩飽水軍や本島の塩飽勤番所などの歴史を学ぶこともできる。

園地内は芝生が敷きつめられ、ツツジが植えられている。周辺はアカマツ林で、林内はヒサカキを中心にシロダモ、ヤブツバキも生えている。このアカマツ・ヒサカキ林は水落まで続く。春から夏にかけては、ホオジロ、ウグイス、シジュウカラ、メジロなど、秋から冬にかけては、ツグミ、シロハラなどが観察できる。

### (2) 水落集落

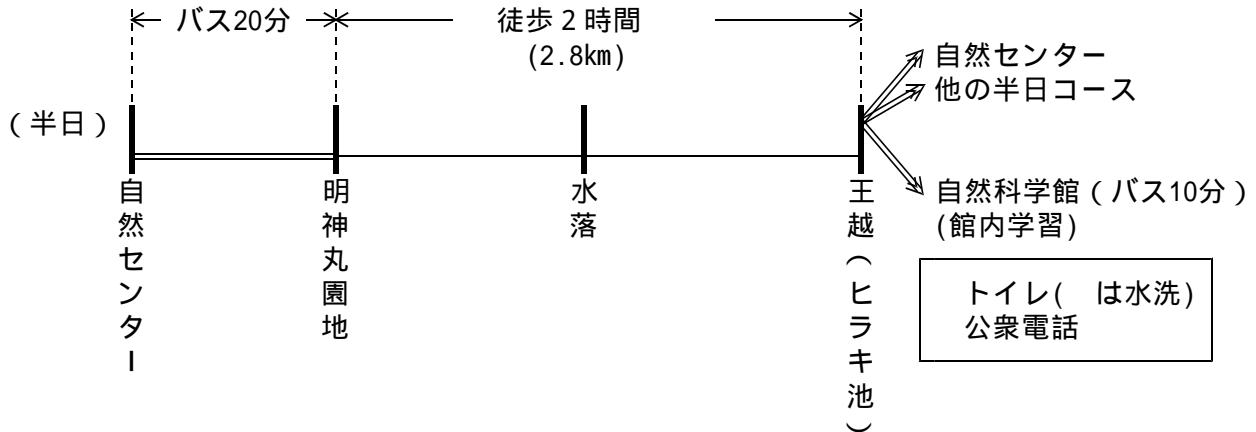
この地は戦後開墾され、多い時には16世帯の人たちが住んでいたが、現在は定住する人はいない。数棟の廃屋があり、場所によっては、今も当時のみかん畑などが残っている。開墾の苦勞と自然の厳しさを推察することができる。ヒヨドリ、キジバトなど、野鳥の鳴き声がよく聞こえる。

### (3) 水落～王越（ヒラキ池）

水落から王越へ下る道からの展望がよい。王越山の右に木沢塩田跡地、左に乃生塩田跡地が見られ、製塩の歴史について学習することができる。

標高250m付近では讃岐岩質安山岩の板状節理が、標高130m付近では、五色台を支える花こう岩の風化した状態が観察できる。樹木では、マツ類にまじってコナラ、ノグルミ、ウリハダカエデ、コバノミツバツツジ、オンツツジなどの落葉樹が多く見られ、いろいろな木の葉を観察することができる。

## 2 経路・所要時間



### 3 利用上の留意点

- (1) 1日の野外体験学習であれば、午前中にビジターセンター周辺コースを利用し、午後に明神丸園地～水落～王越コースを組み合わすことができる。
- (2) 午後に自然科学館での学習を組み合わせ、フィールドで採集したデータや材料を整理するなどして、学習を深めることができる。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬		
生	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる		
	衣服につく種子	種類を調べ、くつつくしくみを観察する		
	山の味覚	木の実を探し、味わう		
	ススキの観察と遊び	花のつくりを調べ、フクロウ作りをする		
	野菊	花の種類を調べ、野菊と親しむ		
	いろいろな花の観察	花のつくりを調べる		
	物	いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する	
シダ植物		シダ植物の特徴を調べる		
ヤブツバキ		ツバキの果実のつくりを調べる		
地	讃岐岩質安山岩	産状や割れ口の色などを調べる		
	しのぶ石	しのぶ石の成因を知る		
	メサとビュート	メサとビュートの成因を知る		
	雲の観察	雲を観察し、種類や雲量を調べる		
	学	節理の観察	割れ方の規則性を見つけ、でき方を考える	
		五色台の岩石調べ	ルートにそって岩石を記録する	
人	瀬戸大橋	郷土の発展に果たしている役割を考える		
	番の州工業地帯	工場立地とコンビナートについて考える		
	備讃瀬戸の展望	塩飽の島々と水軍について考える		
	水落開拓村	開拓村跡を見て人々の苦労を考える		
	塩田と製塩業の現状	製塩業の歴史について知る		
	地形図の利用	方位や現在位置の調べ方がわかる		
	文	みかん栽培と傾斜地利用	みかん栽培の条件を探る	
五色台の歴史		五色台のいわれや歴史について調べる		
五色台の名前の由来		五色台の名前の由来について調べる		
環境	マツの観察	松枯れの原因や空気の汚れ度を調べる		

観察に適した季節を示す。印はこのコースで中心となる学習主題である。

# ビジターセンター周辺コース (旧タンベ池及びその周辺コース)

## 1 特 徴

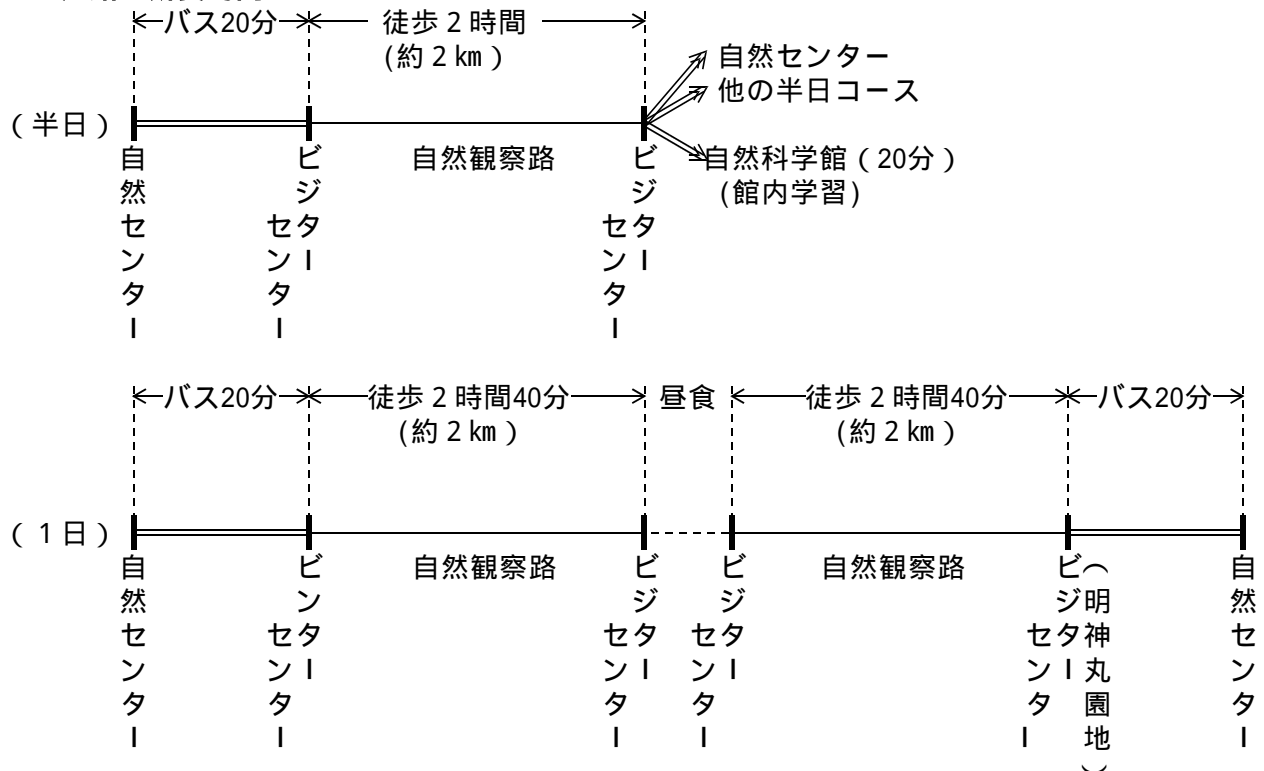
### (1) 自然観察路

タンベ池と明神丸園地の間には、いくつかの自然観察路がある。観察路はアカマツ・ヒサカキ林の間を通り抜けている。途中にはシロダモ、フユザンショウ、クサギ、ノグルミなどの樹木が見られる。また、シジュウカラをはじめ、ウグイス、メジロ、ホオジロなどの留鳥の他、夏には、オオルリ、センダイムシクイ、ホトトギスなどの夏鳥が訪れる。秋から冬にかけては、ツグミ、シロハラ、ミヤマホオジロなどの冬鳥が観察できる。また、メジロ、エナガなどの野鳥の群れ行動を見ることもできる。明神丸園地では瀬戸大橋や番の州工業地帯を眺望し、香川の交通や経済に与える影響について考えることができる。

### (2) ビジターセンター

標高360mに位置する五色台ビジターセンターは、瀬戸内海国立公園五色台地区の自然情報を収集・発信する主要拠点として環境省が整備した施設である。常設展示では、五色台の自然や地球温暖化をはじめとするさまざまな環境問題について考えることができる。また、五色台の自然情報板には、折々に見られる花や動物、歩道の情報が記入されている。

## 2 経路・所要時間



トイレ(は水洗)  
公衆電話

### 3 利用上の留意点

- (1) ビジターセンター周辺は年間を通して自然観察に適しており、四季折々の学習主題が用意されている。また、ビジターセンターには、五色台の生物や岩石など、自然に関する標本やパネルが数多く展示されており、楽しみながら五色台の自然について理解を深めることができるようになっている。
- (2) ビジターセンター周辺で学習を行うと、移動距離が少なく余裕のある活動ができる。また、ビジターセンターから自然観察路を通り、学習しながら明神丸園地まで行くこともできる。

### 4 おもな学習主題

項	目	内	容	春夏秋冬	
生	マツの観察と遊び	アカマツとクロマツの違いを調べる			
	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる			
	山の味覚	木の実を探し、味わう			
	ススキの観察と遊び	花のつくりを調べ、フクロウ作りをする			
	いろいろな花の観察	花のつくりを調べ、記録する			
	バードウォッチング	鳥の鳴き声や姿、行動を楽しむ			
	物	水鳥の観察	水鳥の名前やその特徴を調べる		
		バッタ	バッタの体のつくりを調べる		
		いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する		
		セミ	セミの抜けがらを観察し、検索表で分類する		
	トンボ	トンボやヤゴを観察し、体のつくりなどを調べる			
地	讃岐岩質安山岩	産状や割れ口の色などを調べる			
	天気の変化	気象観察から天気の変化を予測する			
	太陽の方位と時刻	現在の太陽の位置から方位と時刻を知る			
	学	昼間の月	月の形から月齢を調べたり、実際の大きさを計算したりする		
人	瀬戸大橋	郷土の発展に果たしている役割を考える			
	五色台の歴史	五色台のいわれや歴史について調べる			
	五色台の名前の由来	五色台の名前の由来について調べる			
	文	備讃瀬戸の展望	塩飽の島々と水軍について考える		
環	生物のつながり	生物の食物連鎖を通して、自然環境を考える			
	マツの観察	松枯れの原因や空気の汚れ度を調べる			
	水のごれ	水のごれ調べを通して、環境保全を考える			
	境	五色台のごみ	ごみの現状を知り、ごみの処理や再利用について考える		

観察に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。

# 野鳥の森コース

## 1 特 徴

### (1) 観 察 路

阿弥陀越野鳥の森は、五色台のほぼ中央に位置し、昭和51年3月から環境庁（現在の環境省）により鳥獣特別保護区に指定されている。この中に全長2.6km、幅1.5mほどの周回観察路を設けている。

この観察路周辺には、年間約40種類の野鳥の出現が確認されており、観察路に沿って野鳥の声を聞くことができる。また、樹木が約70種類、野草もかなりの種類が見られ、観察することができる。さらに、サヌカイトや讃岐岩質安山岩の観察もできる。

### (2) アベマキ・クヌギ林

観察路入り口から左に100mほど入った付近には、アベマキ・クヌギ林、ウリハダカエデ・カゴノキ林が見られ、落葉樹と常緑樹の違いや、アベマキ・クヌギの形態について比較し観察することができる。さらに進むとサヌカイトの転石があり、石器と人々の生活についてもふれることができる。

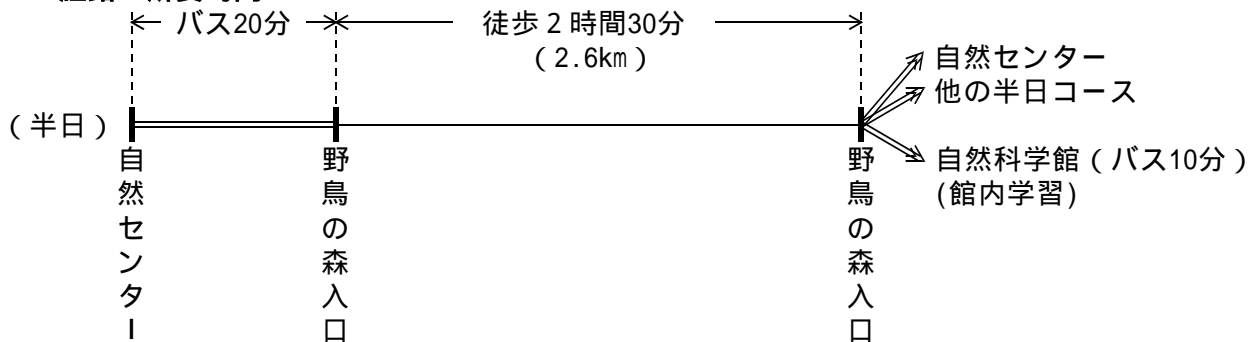
### (3) 休憩所付近

休憩所から岩場にかけては、ウラジロ群落をはじめとするシダ植物が観察できる。また岩場近くには黄色がかった木肌をみせるソヨゴ林が見られる。

### (4) 岩 場

休憩所から樹木を観察しながら800mほど進んだところに、讃岐岩質安山岩の岩場がある。ここからは、瀬戸内海の島々や紅ノ峰、黄ノ峰、青峰などを眺望することができ、侵食地形（メサ・ビュート）の学習や地形図を用いての読図学習に適している。また、この周辺では、ウバメガシの極相林きょくそうりんが見られる。

## 2 経路・所要時間



トイレ( は水洗)  
公衆電話

### 3 利用上の留意点

- (1) 野鳥の観察だけでなく、樹木や岩石の学習などを組み合わせて活用することが望ましい。
- (2) 1日の野外体験学習であれば、半日を野鳥の森の学習にあて、残りの半日は自然科学館を利用して、学習を深めることができる。

### 4 おもな学習主題

項 目	内 容	春夏秋冬
マツの観察と遊び 帰化植物ブタナ <b>生</b> 山の危険な植物 秋の七草 山の味覚 どんぐりのなる木と遊び 風でとばされる種子 いろいろな葉とその遊び シダ植物 <b>物</b> いろいろな花の観察 落ち葉の観察 セ ミ	アカマツとクロマツの違いを調べる タンポポとの違いを調べる ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる 花を中心に形や色、詩歌を楽しむ 木の実をさがし、味わう どんぐりを観察し、遊びを楽しむ カエデなどの種子の特徴を調べる 葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する シダ植物の特徴を調べる 花のつくりを調べて記録する 落ち葉のはたらきを調べる セミの抜けがらを観察し、検索表で分類する	
<b>地</b> サヌカイト 讃岐岩質安山岩 <b>学</b> メサとビュート	サヌカイトの表面の特徴を見つける 産状や割れ口の色などを調べる メサとビュートの成因を知る	
<b>人</b> 五色台の歴史 五色台の名前の由来 <b>文</b> 地図を活用しよう サヌカイトと石器	五色台のいわれや歴史について調べる 五色台の名前の由来について調べる 岩場から見える地形や方位がわかる サヌカイトの石器と昔の人々の生活について考える	

観察に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。

## 香西口～市瀬神社～根香寺コース

### 1 特 徴

#### (1) 根香寺参道

香西口から根香寺に至る約4.5kmの参道には、9基の丁石と3基の道標があり、昔日の信仰の深さをしのぶことができる。途中の山道では、アベマキ・クヌギ林やオニグルミの大木が夏の日ざしをさえぎり、秋には木の実の観察が楽しめる。また、凝灰角れき岩の露頭や讃岐岩質安山岩の急崖が観察できる。

#### (2) 市瀬神社

智証大師円珍が根香寺を創建したとき、寺の鎮守として香木を切って神像を刻みまつたといわれる神社である。社叢には本県では数の少ないバクチノキがあり、ムクロジ、クヌギ、エノキ、カゴノキ、アラカシ、フジなどの大木がおおい、林床にはホソバカナワラビ、ヤブコウジが密生していて、昭和46年に県指定天然記念物となっている。

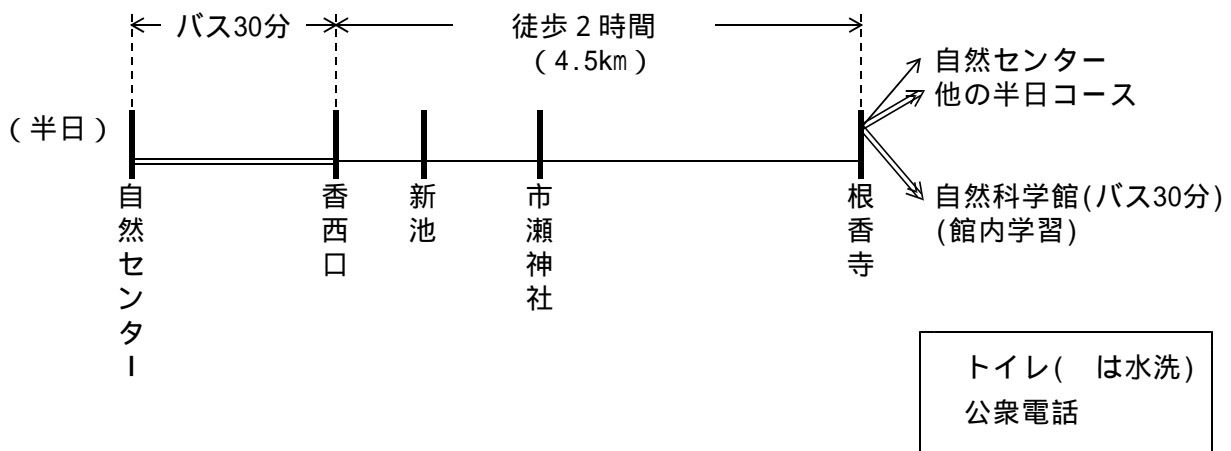
#### (3) 八丁目からの展望

山を少し登ったみかん畑の中に八丁目がある。ここからの眺望は特にすばらしく、高松市街や中世の豪族香西氏が城を築いていたといわれる勝賀山はもとより、源平の合戦場屋島、鬼退治伝説の島女木島（鬼ヶ島）などを見渡すことができる。さらには、遠く本州まで望むことができる。

#### (4) 根 香 寺

四国霊場第82番札所根香寺は山岳寺院特有の伽藍配置である。本尊である秘仏の千手観音をはじめ、五大明王、水かけ地蔵などの仏像とともに、白猴はつこつげやきや牛鬼の伝説などが残されており、寺の古さを物語っている。モミ、スギ、ケヤキなどの大木のこずえからは野鳥のさえずりが聞こえ、夏にはセミの合唱を楽しむこともできる。また、イロハモミジも多く、秋には紅葉が見事である。

### 2 経路・所要時間



### 3 利用上の留意点

- (1) 距離が長く、登り坂が急なので、生徒の体力面への配慮を要する。
- (2) 新池から学習を始めることで、市瀬神社や根香寺での学習に時間をかけることができる。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬	
生 物	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる	
	つる植物の観察	つるののばし方について調べる	
	どんぐりのなる木と遊び	どんぐりを観察し、遊びを楽しむ	
	風でとばされる種子	カエデなどの種子の特徴を調べる	
	いろいろな花の観察	花のつくりを調べて記録する	
	シダ植物	シダ植物の特徴を調べる	
	いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する	
	タケやササの観察と遊び	タケとササの違いを調べ、遊びを楽しむ	
	寺叢・社叢の観察	樹種や階層構造を調べる	
	山の味覚	木の実を探し、味わう	
地 学	花こう岩の観察	岩石のつくりや鉱物を観察する	
	讃岐岩質安山岩	産状や割れ口の色などを調べる	
	凝灰角れき岩	凝灰角れき岩の特徴をつかむ	
人 文	遍路道の丁石と道標	遍路道の丁石と道標について調べる	
	香西氏と勝賀城	香西氏の歴史について調べる	
	お遍路さんと信仰	お遍路さんの服装や参拝の仕方などを理解する	
	市瀬神社の伝承	市瀬神社の伝承を知る	
	石塔と鳥居	宝篋印塔 <small>ほうきょういんとう</small> や鳥居の見方を理解する	
	寺の門と金剛力士像	山門と仁王の観察をする	
	梵字に親しもう	梵字の読み方や意味を調べる	
	梵鐘の時代	梵鐘の見方を理解する	
	山岳仏教	山岳仏教の特色を理解する	
	牛鬼の伝説	牛鬼のいわれを知る	
	石灯籠の時代	石灯籠の見方を理解する	
	寄進石と信仰	寄進石から信仰圏を探る	
	仏像の観察	仏像の見方を理解する	
	五色台の名前の由来	五色台の名前の由来について調べる	

観察に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。

## 遍路道～白峯寺コース

### 1 特 徴

#### (1) 遍路道

四国霊場の札所である白峯寺と根香寺は、道幅約1mの遍路道で結ばれ、その道筋は起伏に富んでいる。路傍には遍路のために、丁石や道標が建てられており、それらを観察・調査することができる。遍路道は、アカマツ・ヒサカキを主とした林の中を通る。林内には、ウリハダカエデ、アベマキなども見られ、季節ごとに彩りを変えている。さらに、初夏には県民鳥ホトトギスの鳴き声も聞かれるなど、野鳥や昆虫も多く生息している。

#### (2) 古田付近

サヌカイトの転石があり、近くの国分台からは多数の石器が発見されている。また、ここには四十二丁目の丁石とともに道標があり、その刻銘から国分寺と白峯寺を結ぶ遍路道があったことなどが調べられる。

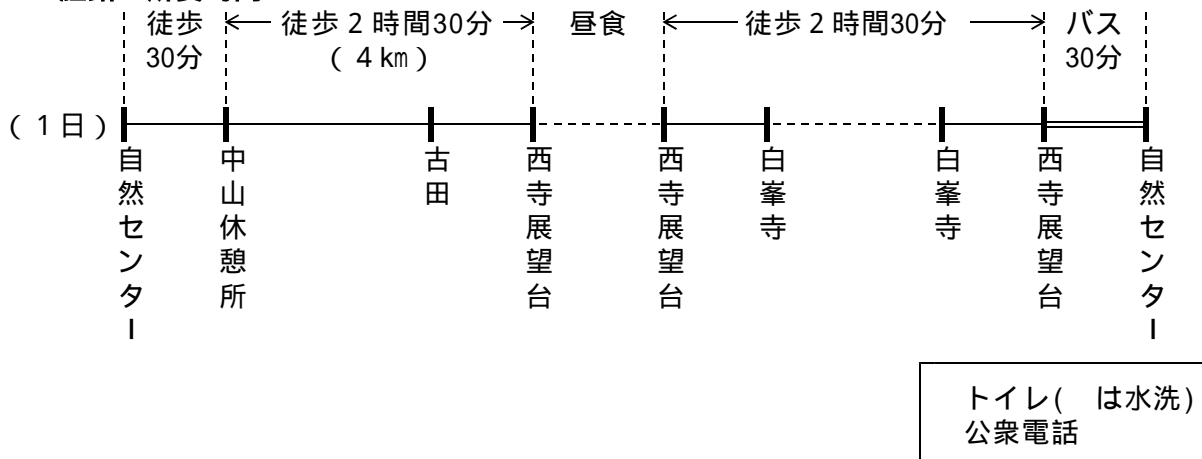
#### (3) 西寺展望台

西寺展望台から、飯野山、城山、金山などを眺望することができ、侵食地形（メサ・ビュート）の学習に適している。また、加茂、林田地区の条里制の遺構、瀬戸大橋や塩飽諸島も展望できる。

#### (4) 白 峯 寺

ここは、平安の昔から弘法大師ゆかりの真言密教の霊場、山伏の修験場<sup>やまぶし しゅげんじょう</sup>として知られ、四国霊場の第81番札所である。また、保元の乱に敗れた崇徳上皇の御陵、頓証寺殿<sup>とんしょうじでん</sup>など上皇にまつわる多くの史跡にふれることができる。寺叢には、県の保存木に指定されている針葉樹のモミをはじめ、スギ、ヒノキ、常緑広葉樹のクスノキ、クロガネモチ、落葉広葉樹のケヤキ、ムクノキ、ムクロジなどが見られ、四季を通じて数多くの野鳥が訪れている。

### 2 経路・所要時間



### 3 利用上の留意点

- (1) 白峯寺境内での学習には、白峯寺学習許可願いが学習当日に必要である(納経所に提出)。
- (2) 白峯寺境内では、一般参拝者も多いため、迷惑をかけないように配慮する。
- (3) 西寺展望台より景観を眺望した後、崇徳上皇の生前の足跡をたどることで、白峯寺での学習をさらにふくらませることも可能である。
- (4) 最初にバスを利用して西寺展望台まで行き、逆コースで学習を行うことも可能である。
- (5) 白峯寺境内のトイレは、急な場合以外は使用できない。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬		
生	マツの観察と遊び	アカマツとクロマツの違いを調べる		
	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる		
	山の味覚	木の実を探し、味わう		
	どんぐりのなる木と遊び	どんぐりを観察し、遊びを楽しむ		
	風でとばされる種子	カエデなどの種子の特徴を調べる		
	落ち葉ひろい	落ち葉を拾い、葉の違いを調べる		
	野菊	花の種類を調べ、野菊と親しむ		
	物 いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する		
	いろいろな花の観察	花のつくりを調べる		
	セミ	セミの抜けがらを観察し、検索表で分類する		
地学	サヌカイト	サヌカイトの表面の特徴を見つける		
	雲の観察	雲を観察し、種類や雲量を調べる		
人	遍路道の丁石と道標	遍路道の丁石と道標について調べる		
	十九丁目を調べよう	十九丁目の石造物について調べる		
	瀬戸大橋	郷土の発展に果たしている役割を考える		
	条里制	景観を眺望し、条里制を理解する		
	寺の門	山門の意味を知り、観察する		
	梵鐘の時代	梵鐘の見方を理解する		
	崇徳天皇陵と頓証寺	崇徳天皇陵と頓証寺の関わりを知る		
	遍路と弘法大師	弘法大師の足跡とお遍路さんの心情を探る		
	石塔と鳥居	宝篋印塔や鳥居の見方を理解する		
	石灯籠の時代	石灯籠の見方を理解する		
	山岳仏教	山岳仏教の特色を理解する		
	お遍路さんと信仰	お遍路さんの服装や参拝の仕方などを理解する		
	寺の伽藍	寺院の伽藍配置や建物について調べる		
	文	西行法師	西行と上皇の関係について知る	
		關伽井 <small>あかい</small> と弘法大師	關伽井と弘法大師について理解する	
		仏像の観察	仏像の見方を理解する	
五色台の名前の由来		五色台の名前の由来について調べる		

観察に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。

## 遍路道～国分寺コース

### 1 特 徴

#### (1) 中山休憩所～一本松

中山休憩所を出て、遍路道をしばらく進んだところに、「十九丁目」と呼ばれる広い場所がある。そこには道標をはじめとする石造物や説明板があり、遍路道や十九丁打ちもどりについて調べることができる。十九丁目から一本松の間では、クズやハギなどの秋の七草が観察できる。サヌカイト(カンカン石)の転石も散在しているので、表面のようすを調べたり、石器の材料として使われていた理由を考えたりすることができる。

#### (2) 一本松～国分寺

一本松から少し下った展望台に立つと、眼下に国分寺をはじめ関ノ池、神崎池、新池などが展望できる。また、堂山、火ノ山、鷲ノ山などを眺望することができ、侵食地形(メサ・ビュート)の学習に適している。展望台から下る急な坂道では、讃岐岩質安山岩や火山角れき岩などの露頭を観察できる。東奥の凝灰角れき岩の露頭では、層理を観察したり、ガーネット(ざくろ石)を探したりすることができる。

#### (3) 国分寺

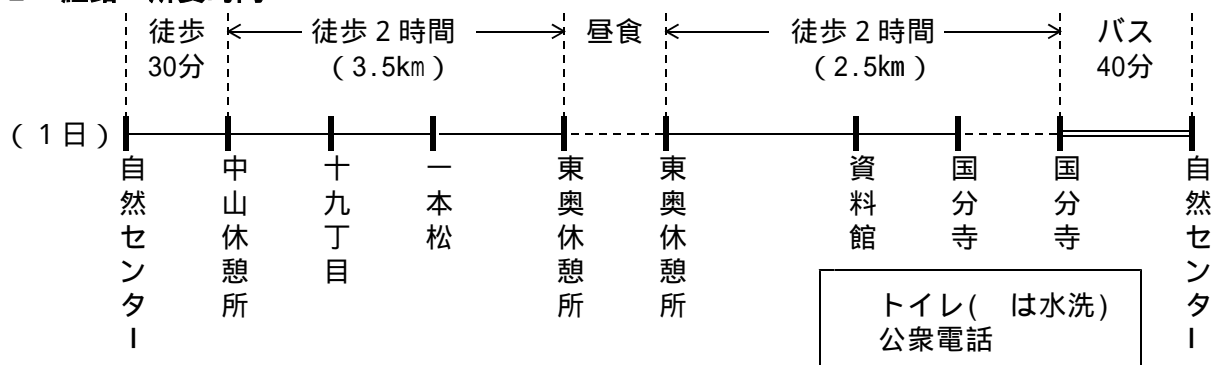
四国霊場第80番札所国分寺には、重要文化財の国分寺本堂や本尊千手観音立像、金剛力士像、銅鐘など文化財が多く、仏像や伽藍配置、銅鐘の伝説など多様な学習が可能である。また、奈良時代創建の国分寺金堂や塔の礎石がほぼ完全に近い形で現存している。

#### (4) 讃岐国分寺跡

讃岐国分寺の範囲は「方二丁」(実際には東西約220m、南北約240m)といわれ、中央の大寺院にも匹敵する規模であった。昭和27年には、往時の寺域を含む東西330m、南北240mの範囲が国の特別史跡に指定された。その後、発掘調査及び保存整備事業が行われた、遺構の保存や建物の復原が進められた。

現在ここは史跡公園となっており、<sup>おおいや</sup>覆屋に保護され、当時の建物の内部構造と僧侶の生活を再現した僧坊跡(東側)や、<sup>きだん</sup>基壇、<sup>せん</sup>礎石、<sup>ついでい</sup>磚を復原配置した僧坊跡(西側)、部分的に復原された築地塀などがある。それらをもとに、古代の文化について学ぶとともに、創建当時の国分寺の偉容をしのぶことができる。また、隣接する資料館では、出土品や復元模型などが展示されており、国分寺の歴史について学習を深めることができる。

### 2 経路・所要時間



### 3 利用上の留意点

- (1) 国分寺境内での学習には、国分寺見学申請書ならびに誓約書を学習日一週間前までに国分寺へ郵送する必要がある。
- (2) 国分寺境内では、一般参拝者も多いため、迷惑をかけないよう配慮する。
- (3) 高松市讃岐国分寺跡資料館の観覧を希望する場合は、学習日当日観覧申請書が必要である。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬	
生	マツの観察と遊び	アカマツとクロマツの違いを調べる	
	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる	
	秋の七草	花を中心に形や色、詩歌を楽しむ	
	山の味覚	木の実を探し、味わう	
	野菊	花の種類を調べ、野菊と親しむ	
	物 いろいろな花の観察	花のつくりを調べる	
	いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する	
物	衣服につく植物	種類を調べ、くつつくわけを観察する	
-----			
地	サヌカイト	サヌカイトの表面の特徴を見つける	
	五色台の岩石調べ	検索表を用いて岩石の名前を調べる	
	ガーネット	ルーペを用いて観察し、色や形を調べる	
	讃岐岩質安山岩	産状や割れ口の色などを調べる	
	火山角れき岩	れきの形などから地層のでき方を考える	
	凝灰角れき岩	凝灰角れき岩の特徴をつかむ	
	学 地層の重なり	地質のミニ標本をつくり、その重なりを調べる	
学	メサとビュート	メサとビュートの成因を知る	
-----			
人	遍路道の丁石と道標	遍路道の丁石と道標について調べる	
	国分台のサヌカイト石器	国分台遺跡と昔の人々の生活について考える	
	お遍路さんと信仰	お遍路さんの服装や参拝の仕方などを理解する	
	寺の門と金剛力士像	山門と仁王の観察をする	
	梵鐘の時代	梵鐘の見方を理解する	
	寺院の観察	寺院の伽藍配置、建物などを観察する	
	石塔と鳥居	宝篋印塔や鳥居の見方を理解する	
	仏像に親しもう	四国八十八札所の本尊や地蔵を調べる	
	讃岐国分寺の立地	国分寺が建てられたのはどんな場所か調べる	
	文 国分寺の僧坊	奈良時代の僧侶の生活を調べる	
	国分寺伽藍と礎石	金堂、塔、僧坊、鐘楼などの規模や様子を調べる	
	築地塀と古代瓦	古代の築地と屋根瓦を調べる	

観察に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。

# 赤子谷コース

## 1 特 徴

### (1) 山 道

谷を下りながら山腹を斜行する変化に富んだ山道である。途中、非常に険しいところもあるが、四季おりおりの草花、昆虫、野鳥が観察できる。また、市道出口手前では、左上方に大きな急崖が見られる。これは約1000万年前に噴出した溶岩が冷え固まったもので、讃岐岩質安山岩とよばれ、縦、横のひび割れ（節理）のようすが観察できる。

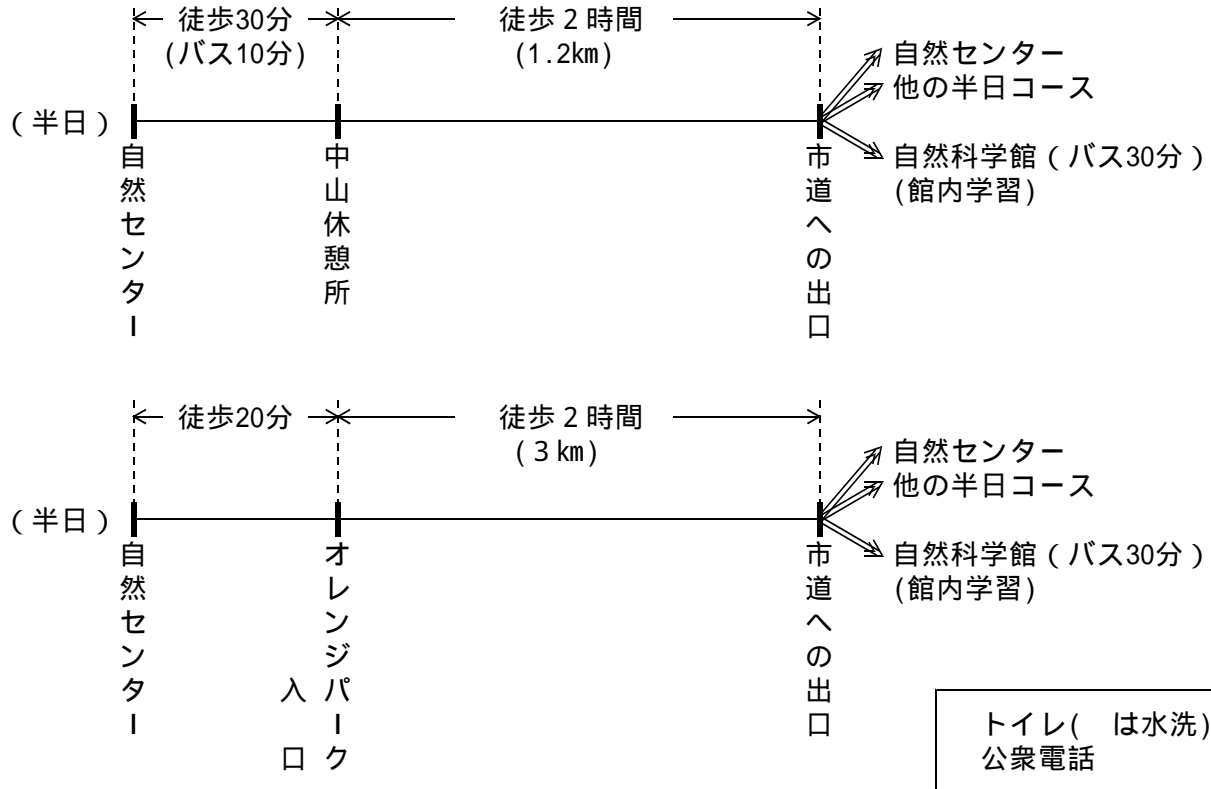
### (2) 市道への出口付近

サヌカイト（カンカン石）や讃岐岩質安山岩の転石が多く、表面のようすを見比べるなど、その特徴を容易に調べることができる。また、近くに凝灰岩の露頭が見られ、その中にムカシウリノキなどの植物化石が発見されることがある。この付近からの展望はすばらしく、高松平野、讃岐山脈が遠望できる。

### (3) 市道への出口付近～オレンジパーク入口

花こう岩の上に約1000万年前の火山活動の産物である凝灰角れき岩、火山角れき岩、讃岐岩質安山岩などの岩石が重なるようすを観察でき、五色台の成り立ちを推察することができる。また、このあたりから、かつて香西氏の山城があった勝賀城や瀬戸内の島々などが展望でき、島と島との間を航行する船舶のようすもつぶさに観察できる。

## 2 経路・所要時間



### 3 利用上の留意点

- (1) サヌカイトの観察には、軍手を必要とする。
- (2) 市道通行時には、見通しの悪いカーブが続くので、交通安全に留意する。また、市道を歩いている学習は、春・秋が望ましい。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬		
生	山の危険な植物	ハゼノキ，ヤマウルシの特徴を調べる		
	衣服につく植物	種類を調べ，くつつくわけを観察する		
	クズ	クズの花やつるの巻き方を観察する		
	ヨウシュヤマゴボウ	花のつくりを調べ，実で遊ぶ		
	野菊	花の種類を調べ，野菊と親しむ		
	いろいろな花の観察	花のつくりを調べる		
	物	いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ，葉の遊びを工夫する	
	タケやササの観察と遊び	タケとササの違いがわかり，遊びを楽しむ		
	山の味覚	木の実を探し，味わう		
-----				
地	赤子谷の地質	赤子谷の地層の重なりを調べる		
	五色台の岩石	検索表を用いて岩石の名前を調べる		
	地層の重なり	地質ミニ標本をつくり，その重なりを調べる		
	サヌカイト	サヌカイトの特徴をつかむ		
	昼間の月	月の形から月齢を調べたり，実際の大きさを計算したりする		
	花こう岩	岩石のつくりや鉱物を観察する		
	凝灰岩	凝灰岩の特徴をつかむ		
	化石	化石の種類から当時のようすを考える。		
	学	火山角れき岩	火山角れき岩の特徴をつかむ	
		讃岐岩質安山岩	産状や割れ口の色などを調べる	
	節理の観察	割れ口の規則性を見つけ，でき方を考える		
	太陽と方位と時刻	現在の太陽の位置から方位と時刻を知る		
-----				
人	五色台の名前の由来	五色台の名前の由来や歴史について調べる		
	サヌカイトの石器	サヌカイトの性質と石器について知る		
	香西氏と勝賀城	香西氏の歴史について調べる		
	文	勝賀山と桃太郎伝説	桃太郎伝説に登場する地を眺望し，その由来を知る	
	備讃瀬戸の展望	備讃瀬戸の島々のようすを眺望する		
-----				
環境	五色台のごみ	ごみの現状を知り，ごみの処理や再利用について考える		

観察に適した季節を示す。印はこのコースで中心となる学習主題である。

## 自然センター～根香寺コース

### 1 特 徴

#### (1) 遍路道

「是より一宮迄二里半」と刻んだ道標を観察した後、アカマツ・ヒサカキ林でおおわれた遍路道を200mほど、昔をしのびながら歩くことができる。道のりはわずかだが、丁石が2基現存している。

#### (2) 根香寺

のちに天台座主となる円珍（智証大師）によって、832年（天長9年）に創建されたと伝えられる寺である。四国霊場第82番札所で、平安時代の山岳寺院のたたずまいを身近に感じることができる。また、境内や周辺を散策して、五大明王をはじめとする様々な仏像を調べたり、牛鬼の伝説などをたずねたりすることもできる。

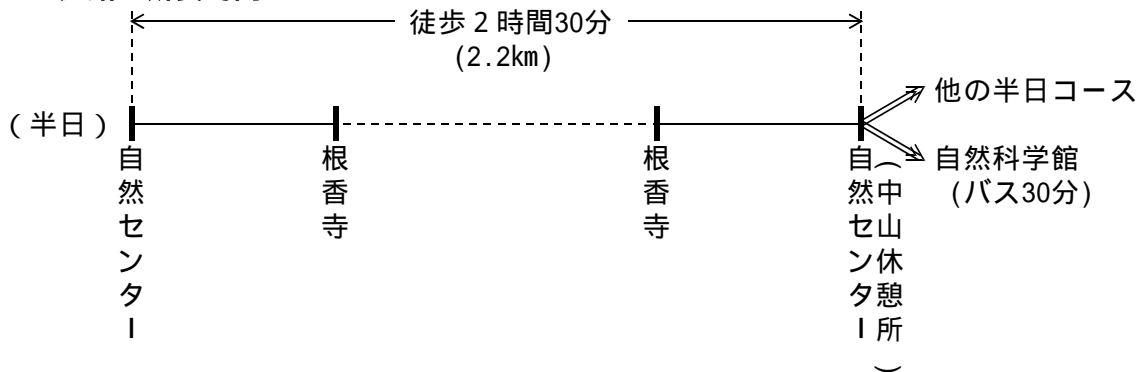
#### (3) 讃岐岩質安山岩の露頭

自然の家の駐車場より県道に向かって歩くとサヌカイトの転石が観察できる。県道を下るとタマネギの断面のように見える讃岐岩質安山岩のタマネギ状風化のようすを観察できる。また、帰る道筋で四季の植物を利用して草花遊びもできる。

#### (4) 寺 叢

境内には、アカマツ、クロマツ、モミ、スギ、ヒノキなどの針葉樹とともに、ヤブツバキやカゴノキなどの常緑広葉樹がある。また、イロハモミジなどカエデ類、エノキやケヤキなどの落葉広葉樹も多く、秋にはそれらが色づいて美しい。寺叢を訪れる野鳥も多く、春から夏にかけてウグイス、ホトトギスなどのさえずりが楽しめる。

### 2 経路・所要時間



トイレ( は水洗)  
公衆電話

### 3 利用上の留意点

- (1) 県道通行時は、交通安全に留意する。
- (2) 根香寺境内では、一般参拝者も多いため、迷惑をかけないように配慮する。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬		
生	マツの観察と遊び	アカマツとクロマツの違いを調べる		
	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる		
	クズ	クズの花やつるの巻き方を観察する		
	風で飛ばされる種子	カエデなどの種子の特徴を調べる		
	いろいろな花の観察	花のつくりを調べる		
	いろいろな葉とその遊び	葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する		
	寺叢の観察	樹種や階層構造を調べる		
	物	バードウォッチング		鳥の鳴き声やその姿、行動を楽しむ
		セミの抜けがら調べ		セミの抜けがらを観察し、検索表で分類する
	地学	讃岐岩質安山岩		産状や割れ口の色などを調べる
タマネギ状風化		タマネギ状風化を観察する		
サヌカイト		サヌカイトの特徴をつかむ		
赤土		赤色土を調べ、その生い立ちを推定する		
人	寺の門と金剛力士像	山門と仁王の観察をする		
	梵鐘の時代	梵鐘の見方を理解する		
	梵字に親しもう	梵字の読み方や意味を調べる		
	山岳仏教	山岳仏教の特色を理解する		
	仏像の観察	仏像の見方を理解する		
	牛鬼の伝説	牛鬼のいわれを知る		
	白猴櫓の伝説	白猴櫓のいわれを知る		
	五色台の歴史	五色台のいわれや歴史について調べる		
	遍路道の丁石と道標	遍路道の丁石と道標について調べる		
	文	お遍路さんと信仰		お遍路さんの服装や参拝の仕方などを理解する
役行者		役行者と修験道について理解する		
石塔の時代		宝篋印塔の見方を理解する		
五色台の名前の由来		五色台の名前の由来について調べる		

観察に適した季節を示す。印はこのコースで中心となる学習主題である。

## 香西口～根香寺～白峯寺コース

( と のコースを合わせたコースである。)

### 1 特 徴

#### (1) 市瀬神社

智証大師円珍が根香寺を創建する際、寺の鎮守として青峰山の香木を切って自ら神像を刻み、この地に祠<sup>ほくら</sup>を建ててまつたと伝えられている。神社には、その歴史の深さを物語るかのごとくすばらしい社叢が見られる。特に、バクチノキ、カゴノキ、ヤブツバキ、ヤブニッケイ等が叢生<sup>そうせい</sup>し、昭和46年に県指定天然記念物に指定されている。また、根香寺参道沿いには凝灰角れき岩の露頭も観察できる。

#### (2) 根香寺

のちに天台座主となる円珍によって、832年(天長9年)に創設されたと伝えられる寺である。四国霊場第82番札所で、平安時代の山岳寺院のたたずまいを身近に感じることができる。また、境内や周辺を散策して、五大明王をはじめとする様々な仏像を調べたり、牛鬼の伝説などをたずねたりすることもできる。

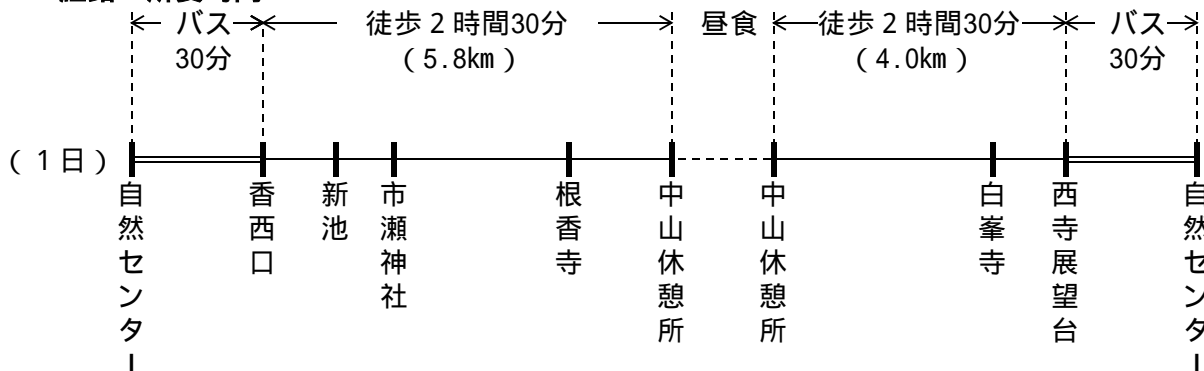
#### (3) 遍路道十九丁目

十九丁目は、国分寺、白峯寺、根香寺の四国霊場3か寺を結ぶ遍路道の分岐点で、それぞれの札所を指し示す4基の道標や地藏像などが建立されている。

#### (4) 白峯寺

平安の昔から弘法大師ゆかりの真言密教の霊場、山伏の修験場として知られ、四国霊場の第81番札所となっている。また、保元の乱に敗れた崇徳上皇の御陵や頓証寺殿など、上皇にまつわる多くの史跡にふれることができる。寺叢には、県の保存木に指定されている針葉樹のモミをはじめ、スギ、ヒノキ、常緑広葉樹のクスノキ、クログネモチ、落葉広葉樹のケヤキ、ムクノキ、ムクロジなどが見られ、四季を通じて数多くの野鳥が訪れている。

### 2 経路・所要時間



トイレ( は水洗)  
公衆電話

### 3 利用上の留意点

- (1) 1日の野外体験学習を設定した場合のみ可能なコースである。
- (2) 距離が長く、登り坂が急なので、生徒の体力面への配慮を要する。
- (3) 新池から始めると、市瀬神社や根香寺での学習に時間をかけることができる。

### 4 おもな学習主題

項目	内容	春夏秋冬	
生 物	マツの観察と遊び	アカマツとクロマツの違いを調べる	
	山の危険な植物	ハゼノキ、ヤマウルシの特徴を調べる	
	クズ	クズの花やつるの巻き方を観察する	
	山の味覚	木の実を探し、味わう	
	どんぐりのなる木と遊び	どんぐりを観察し、遊びを楽しむ	
	落葉ひろい	落葉をひろい、葉の違いを調べる	
	いろいろな花の観察 いろいろな葉とその遊び	花のつくりを調べる 葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する	
地 学	花こう岩	岩石のつくりや鉱物を観察する	
	凝灰角れき岩	凝灰角れき岩の特徴をつかむ	
	サヌカイト	サヌカイトの特徴をつかむ	
	讃岐岩質安山岩	産状や割れ口の色などを調べる	
	節理の観察 天気の変化	割れ口の規則性を見つけ、でき方を考える 気象観察から天気の変化を予測する	
人 文	遍路道の丁石と道標	遍路道の丁石と道標について調べる	
	遍路と弘法大師	弘法大師の足跡と遍路の心情を探る	
	市瀬神社の伝承	市瀬神社の伝承を知る	
	仏像の観察	仏像の見方を理解する	
	香西氏と勝賀城	香西氏の歴史について調べる	
	山岳仏教	山岳仏教の特色を理解する	
	お遍路さんと信仰	お遍路さんの服装や参拝の仕方などを理解する	
	寺の門と金剛力士像	山門と仁王の観察をする	
	牛鬼の伝説	牛鬼のいわれを知る	
	梵鐘の時代	梵鐘の見方を理解する	
	石塔と鳥居	石塔や鳥居の見方を理解する	
	崇徳天皇陵と頓証寺	崇徳天皇陵と頓証寺のかかわりを知る	
	寄進石と信仰	寄進石から信仰圏を探る	
	寺の伽藍	寺院の伽藍配置や建物について調べる	
	五色台の名前の由来	五色台の名前の由来について調べる	

観察に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。

# 自然科学館及びその周辺コース

## 1 特 徴

### (1) 館内学習

#### 生物メニュー

身近な植物の根・茎・葉（花・実）を材料に草木染めのしおりや館周辺の植物で葉脈標本のしおりを作成できる。また、海藻を分類した後、海藻標本の作成をすることもできる。

#### 地学メニュー

ハンマーを使って15種類の岩石を割り、岩石ミニ標本を作成したり、岩石薄片を作成し偏光顕微鏡で観察したりすることで岩石のつくりを詳しく調べることができる。また、化石のレプリカを作成し、昔の生き物の形や大きさなどを調べる学習が行える。

#### 人文メニュー

国分台やタンベ池出土の打製石器の特徴を観察した後、サヌカイトを使って石器（主に石鏃）づくりが体験できる。また、古瓦などの拓本取り、染料や身近な草木を使った草木染め、牛乳パックを使った紙すき、古代人の方法による縄文土器づくりの工程の一部を体験することもできる。

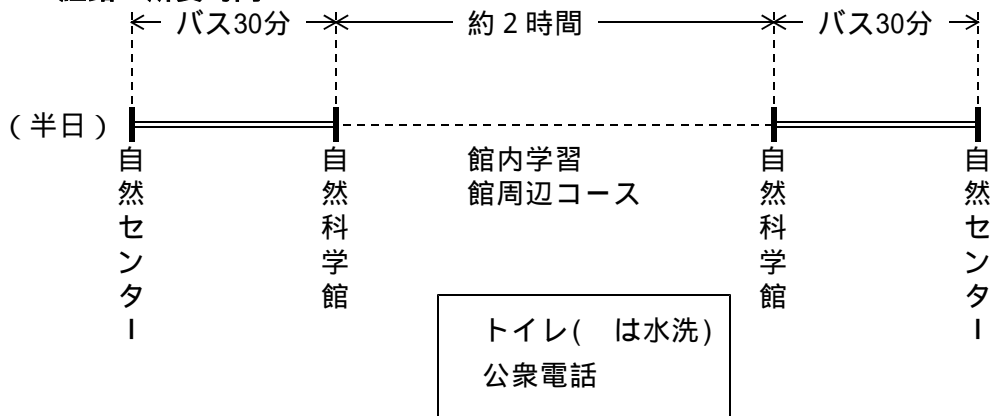
### (2) 館周辺コース

よい子の科学広場には日時計があるほか、春から夏にかけて野鳥、夏から秋にかけてはバッタなどの昆虫を見ることができる。周辺には樹木探検コースが設置されており、多くの樹木の名前、特徴を知ることができる。また、大崎山園地からは、瀬戸大橋や木沢塩田跡、塩飽諸島が望むことができる。つどいの家では農村の民具・塩田用具などの見学もできる。

### (3) 瀬戸内海歴史民俗資料館

重要有形民俗文化財としての瀬戸内の漁撈用具及び船大工道具、島や農山村の生産用具などの民俗資料、近世瀬戸内海を舞台とした御座船、廻船そして船絵馬などの歴史資料、瀬戸内の古代文化を示す石器や土器、古墳からの出土品などの考古資料を見学することができる。

## 2 経路・所要時間



### 3 利用上の留意点

- (1) 館内学習の活動時間は、約2時間程度である。
- (2) 野外での学習を希望する場合も、雨天などに備えて、館内学習を計画しておく。
- (3) 館周辺コースは、周辺の観察路散策を中心とした約1.5kmを歩いている学習である。

### 4 おもな学習主題

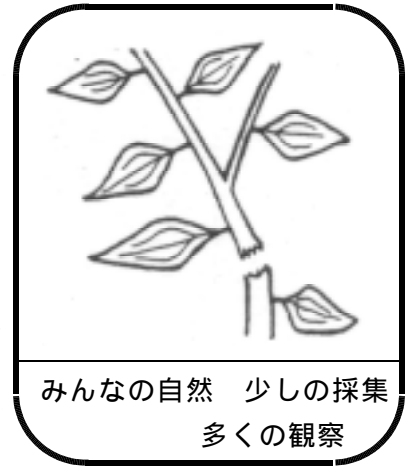
	項 目	内 容	春夏秋冬
館 内 学 習	<b>生</b> 葉脈標本 草木染め <b>物</b> 海藻標本	木の葉の葉脈標本を作る 染料になる身近な植物を調べ、しおりを作る 小原海岸で採集した海藻の標本を作る	
	<b>地</b> 岩石プレパラートづくり 岩石の偏光顕微鏡観察 岩石ミニ標本づくり <b>学</b> 化石模型づくり	厚さ0.03mmの岩石薄片を作る 岩石のつくり、結晶の形や偏光色を観察する 14種類の岩石を観察し、ミニ標本を作る 石こうで化石模型を作り、古生物の生きていた時代を探る	
	<b>人</b> サヌカイトの石器づくり 縄文土器づくり 拓本取り <b>文</b> 草木染め 紙すき	サヌカイトで打製石器を作る 縄文土器のミニチュアを作る(1日学習となる) 古瓦などの拓本を取る 草木染めのハンカチやしおりを作る 牛乳パックなどを使って紙すきをする	
館 周 辺 で の 学 習	<b>生</b> マツの観察と遊び いろいろな花の観察 いろいろな葉とその遊び <b>物</b> バードウォッチング バッタ アリジゴク コオロギ	アカマツとクロマツの違いを調べる 花のつくりを調べ、記録する 葉のつくりを調べ、葉の遊びを工夫する 野鳥の鳴き声やその姿、行動を調べる 種名、体のつくり、行動を調べる 体のつくり、行動を調べる 種類とその鳴き声を調べ、鳴き方を探る	
	<b>地</b> 讃岐岩質安山岩 節理の観察 <b>学</b> メサとピュート 日時計	産状や割れ口の色などを調べる 割れ口の規則性を見つけ、でき方を考える メサとピュートの成因を知る 日時計を使って時刻を知り、その仕組みを考える	
	<b>人</b> 塩田と製塩業の現状 瀬戸大橋 <b>文</b> 備讃瀬戸の展望	製塩業の歴史について知る。 郷土の発展に果たしている役割を考える 備讃瀬戸の島々のようすを眺望する	
環 境	<b>環</b> 松枯れ	松の特性や用途を理解し、松枯れの原因を考える	

観察・実習に適した季節を示す。 印はこのコースで中心となる学習主題である。



持ち帰る ごみと思い出  
豊かな心

フィールド  
マナー  
10か条



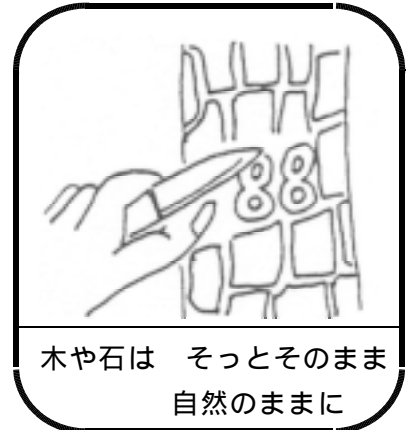
みんなの自然 少しの採集  
多くの観察



捨てるより 拾って歩く  
やさしい手



持ち帰り やめて守ろう  
みんなの自然



木や石は そっとそのまま  
自然のままに



観察が 終われば返そう  
もとどおり



ひそやかに 耳を澄ませば  
近づく自然



遠くから そっと見守る  
小鳥の巣箱



いたわろう 自然の中の  
小さな命



フィールドマナーは  
まだたくさんあるよ  
みんなで考えて実行しよう

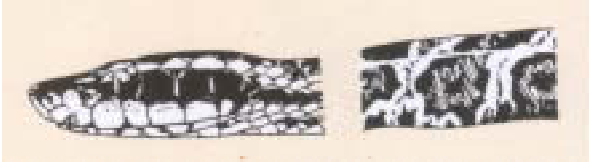


大切に 守って知ろう  
郷土の文化

# 注意しよう！野外の動植物

特徴をよく知り，事故を未然に防ごう！

## マムシ



太くて短いヘビ  
体の両側に黒みがかった銭形模様  
かまれると命にかかわる

**STOP**

素足・サンダルなどで歩かない  
不用意に草むらに手を入れない  
見つけても刺激しない

## ハゼノキ ・ ヤマウルシ ・ ヌルデ

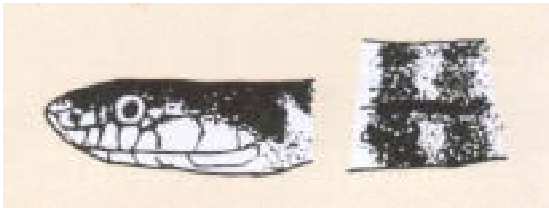


「まけの木」ともよばれる  
植物体すべてが毒をもつが，とくに  
樹液に注意

**STOP**

ふれただけで皮膚に炎症をおこす  
こともあるので，さわらない

## ヤマカガシ

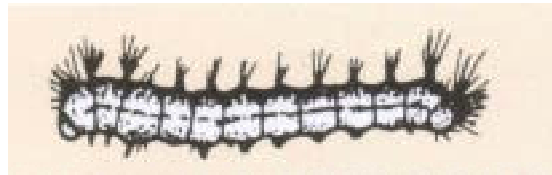


全体に黒っぽく，首筋は黄色  
黒い斑点と赤い模様が目立つ  
奥歯・首筋から毒液を出す  
深くかまれると命にかかわる

**STOP**

素足・サンダルなどで歩かない  
不用意に草むらに手を入れない  
見つけても刺激しない

## ケムシ



ドクガ・マツカレハなどの幼虫は，  
毛に毒がある

**STOP**

体や衣服についても，素手でつか  
んだりはったりしない  
毒針毛がついた時，こすったりか  
いたりしない  
毒針毛は，セロハンテープをあてて取  
り除くか，そっと洗い流すのがよい

## スズメバチ



攻撃性，毒性とも強い  
刺されると命にかかわる  
秋に被害が多い

**STOP**

飛んでいるハチを手ではったりつ  
かまえようとしたりしない  
巣に近づいたり，刺激したりしない

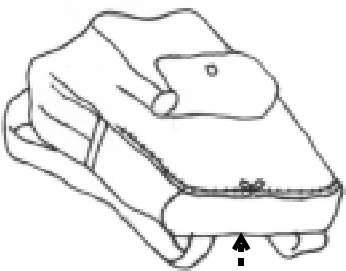
野外を歩くときの服装を整えよう

・長そでシャツ・長ズボン・歩き  
やすい靴・帽子を準備しよう。

周囲の動植物に注意をはらおう

・見つけても，さわったり，つか  
まえたり，殺そうとしない。

# 野外体験学習の服装を整えよう



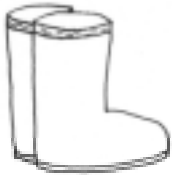
両手が自由になる  
**ナップサック**が便利。  
山道などでは転びやすいので**必ず背負う**。

- ・五色台のしおりと地図  
    (購入校のみ)
- ・筆記用具
- ・弁当 ・水筒
- ・ハンカチ(タオル)
- ・ティッシュペーパー
- ・ビニール袋
- ・古新聞紙

・作業用手袋 (岩石観察などの時に必要)



・長靴 (小原海岸へ行く時は必ず)  
自然センターで借りる  
ことができます。



・防寒着 (冬季は用意することが望ましい)



**服装・準備物チェック表**      用意ができたら 印をつけよう。記名も確実に！

準 備 物	チェック	準 備 物	チェック	準 備 物	チェック
帽子		カッパ・レインコート		古新聞紙	
長そでの上着		作業用手袋		ビニール袋	
長ズボン		筆記用具		弁当	
ハンカチ・タオル		五色台のしおり		水筒	
ティッシュペーパー		五色台の地図		防寒着 (冬季)	